

安全衛生だより第1号

1. 2月全国行事

1) 省エネルギー月間 2月1日～28日

2. 安全・衛生・防災の心得① : 1月の安全・衛生・防災管理・活動

例年、1月初旬は正月休み明けで、人も機械等の設備も思わぬ事故や災害を招いてしまうことがあります。気象庁の長期予報によると温暖化の傾向と言いますが油断は禁物です。他の時期とは異なった「寒冷」が要因となる事故や災害が発生しがちです。現場では、特に次のことに注意が必要です。

1. 寒冷による作業動作の萎縮で作業手順の省略が起きがち。
2. 空気の乾燥による火災や静電気によるトラブルの危険。
3. 着雪による断線や電気事故、排気口などの閉塞による中毒等の事故。
4. 積雪や凍結による構内通路・道路等の滑り。
5. 機械の潤滑液や冷却水等の凍結や詰まりによる機械や設備の故障や不調。
6. 配管やバルブ内等での氷結（体積が10%増）によるパイプ等の破壊。緊急用の消火用水や緊急洗身・洗眼器の凍結。
7. コロナやインフルエンザ、風邪などの疾病の発生や重症化、など。



これらの冬期特有の事故や災害を防止するため、設備等の点検を徹底し、KY活動やリスクアセスメント等をごっちりを実施しましょう。

3. 安全・衛生・防災の心得② : 「倉庫・物置」の安全な活用と管理

事業場の倉庫や物置は物流と作業能率、安全作業の要です。多くの物を適切かつ効率的に保管・収納するため、小さいスペースに荷を高く積んだり、フォークリフトやハンドリフター、台車などの運搬機械器具を使用します。すなわち、仕分けなどを行う人と、荷、機械器具が混在する作業場であり、人と機械の接触や荷の崩壊などのリスクの高い職場と言えます。

倉庫・物置の物の置き方	
作業効率	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取り出しやすさ（先入れ先出しの工夫） ・ 見つけ（見つけ）やすさ（レイアウト、表示） ・ 単位置き（ロット単位、製品単位、出荷日単位など）
安全面	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通路、扉（開閉）の確保 ・ 取り出しスペースの確保 ・ 作業場の確保 ・ 置き場の安全（段差、傾斜がないこと） ・ 消火器、消火栓、避難口の確保
景観	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整然さ（直角水平置きなど）

▼倉庫・物置使用の悪い例▲

- ・ ルールが無く個人の判断で物が高く積まれたりしている
- ・ 積み方、格納の仕方が悪い（置き方がずれたりしている）
- ・ 物の置き方が乱雑（エリア等の区分がない）
- ・ フォークリフトと作業者が混在して作業している
- ・ 通路などが確保されていない、など

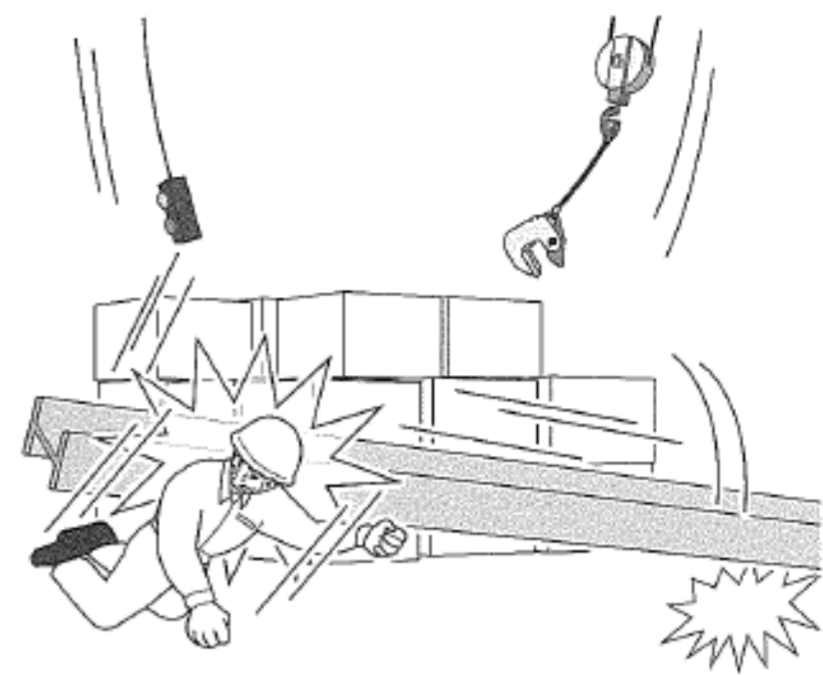
▼倉庫・物置の安全使用のポイント▲

- ・ ルール（高さ制限、置き場所、置き方など）をつくり、守る
- ・ フォークリフトの作業領域と一般作業場はエリアを分ける
- ・ フォークリフトの作業領域に行く時は誘導者を配置するなど
- ・ 倉庫全体のレイアウト図に物の置き場を示し、誰が見ても分かるようにする、など

4. 他社 事故・災害事例から：クランプの挟みが摩耗していた

(1) 災害発生状況

ホイスト式天井クレーンでH型鋼（長さ4.8m、重量500Kg）を1点吊りでクランプで挟み、作業員（37歳・経験10年）がリモコンを持って吊り荷とともに移動しながら、障害物を避けるために荷を吊り上げた際、クランプから荷が外れて落下、バウンドしたH型鋼の下敷きになり死亡しました。



(2) 災害発生原因と補足事項

- ①長尺物の鋼材を不安定な1点吊りで吊っていたこと。
- ②クランプの挟み付ける面が摩耗していて、挟む力が低下していたこと。
- ③吊り荷の経路に障害物が放置されていたこと。
- ④被災者が吊り荷に接近して作業（移動）していたこと、など。

(3) 再発防止対策

類似災害の防止のためには、次のような対策の徹底が必要です。

- ①クレーンで運搬中の吊り荷に近づいたり、吊り荷の下方には入らない。
- ②長尺物の鋼材等を吊る場合は、1点吊りおよびクランプ使用は避ける。
- ③吊り荷の移動中は、むやみに荷を上下させたりしない。
- ④玉掛けの作業を行う時は、その日の作業を開始する前に玉掛け用具等の点検を行い、摩耗したクランプ等は取り替える。
- ⑤ルールを定めて作業場の3S（整理・整頓・清掃）を徹底・習慣化する、など。

- 環境安全部より：当社、構内作業安全基準書（改訂第2版）の中で、作業2-1・ホイストクレーン作業について記載しておりますのでご参照下さい。
また、作業場所において事故発生に繋がる危険性の有無についても今一度ご確認いただき、同種災害の防止を図っていただくようお願い致します。

5. 当社 良い事例（抜粋）

●静岡工場

①センサー設置による治具転倒防止



②倉庫内の棚の新設による管理



6. ヒヤリハット事例

- 事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	作業中
どこで	セット場
何をしている時に	パルリビューベのネジセット作業時
どうなった	台車の1段目にカゴが置けなかったため、重かったが2段目に置いた翌日に腰が痛くなってしまった